

# 五穀豊穡



8\_44年ぶりに大人みこしが復活(上高柳) 9\_威勢のよい掛け声に合わせ、激しくぶつかり合う徳丸と中川原のみこし 10\_そろいの法被で堂々とみこしを担ぐ子どもたち(北川原) 11\_みこしの運行は朝早くから夜遅くまで続いた

1\_それぞれの立ち寄り所で、担いでは下ろし、担いでは下ろしを繰り返す神崎の大人みこし



2\_3\_東古泉の飲食店では周辺の複数の地区が獅子舞を披露した。かわい子どもたちが大活躍(大溝・東古泉) 4\_豪快な舞いを見せる横田の獅子 5\_おみこしと一緒に記念撮影 6\_獅子舞の激しい動きに観客は魅了された(上高柳) 7\_大人と子どもの掛け合いが楽しい大溝の獅子舞



## みこしや獅子舞で 大地の恵みに感謝

(収穫を祝って各地区で秋祭り)  
秋は本番、祭りの季節。雨がちたつく曇り空の下に聞こえてくる祭り囃子。威勢のよい掛け声。歓喜の笑みやほとばしる汗に、胸は高鳴り、心は躍る。「松前の秋祭り」の音、色彩、カタチをカメラリポートする。

松前の秋祭りは10月13日から15日まで開かれた。期間中は▼提灯を手に行列を組む「高張り」▼みこしや獅子舞の運行―などが行われ大勢の人々が秋を楽しんだ。

「ヨイヨイ、ヨイヨイ」「ヨイサッ、ヨイサッ」などの掛け声と共に、勇壮かつ賑々しく練り歩くみこしの迫力を見る人を圧倒。獅子舞の激しい動きは詰めかけた観客を釘付けにした。その勢いに、泣き出す子さえいる。古くから松前の人々は、豊

かな幸に恵まれ、自然と共に暮らしてきた。神への「感謝」と「祈り」は、暮らして欠かせないものだった。私たちが見る秋祭りには、今なおその精神が息づいている。祭の担い手たちの集中力は、祭が終わるまで途切れない。

その土地の風土や暮らしに根付いている祭りをつないできたものは「地域愛」。その思いを確かなカタチとして感じることが出来るからこそ、見ている人まで夢中になれるのだろう。